

REDD プラスへの取組動向

Country Report タンザニア連合共和国



平成 24 年度

独立行政法人 森林総合研究所
REDD 研究開発センター



REDD プラスへの取組動向

Country Report タンザニア連合共和国

-目次-

1	森林の概況	2
1.1	経年変化	2
1.2	今後の森林計画等	3
2	REDD プラスへの取組状況	3
2.1	取組開始	3
2.2	REDD プラス実施体制	4
2.3	REDD プラス戦略発展プロセス	5
2.4	REDD プラス実施の枠組	6
2.5	REDD プラスへの取組（年表）	7
3	主だった REDD プラス関連事業の実施状況	8
3.1	主だった REDD プラス関連事業の実施状況	8
3.2	その他	11
4	UNFCCC への関与情報	11
4.1	UNFCCC での取組状況	11
4.2	NAMAs における REDD プラスの位置づけ	11
5	UNFCCC へ提出している森林情報	12
6	その他の特徴的な地球温暖化対策	12

1 森林の概況

- ▶ タンザニアは 35,300 千 ha の森林を有し、そのうち 18,300 千 ha は保護林 (Reserved Forests) である。保護林のうち、1,600 千 ha は水源涵養林、または生物多様性及び土壌保全を目的とした森林であり、2,000 千 ha は野生動物保護区に指定されている。また、80 千 ha の保護林は政府が所轄する 16 の植林林業 (Plantation Forestry) 対象地であり、4,100 千 ha は参加型森林管理 (Participatory Forest Management : PFM) の対象地である。上記保護林以外の 17 百万 ha を越える森林は、適切な管理の枠組みが無く、こうした森林において、森林減少が顕著である¹。
- ▶ タンザニアは、2000 年から 2010 年の森林減少面積が世界 5 位 (森林面積の平均減少速度 400 千 ha/年) と、森林減少が進んでいる。森林減少・劣化の要因として、保護林への不法侵入、耕作地への転換、山火事、違法伐採、鉱山開発、薪採取、バイオ燃料生産のための大規模農業の導入等がある²。

1.1 経年変化

【表 1-1 タンザニアの概況】

	1990 年	2000 年	2010 年
人口 (中位推計) ³ (千人)	25,479	34,038	44,841
GDP ³ (百万米ドル)	4,259	10,186	22,915
1 人あたり GDP ³ (米ドル/人)	377	567	1,044
GDP 成長率 ³ (%)	7.0	4.9	7.0
国土面積 ⁴ (千 ha)	94,730	94,730	94,730
森林面積 ⁴ (千 ha)	41,495	37,462	33,428
森林率 (%)	43.8	39.5	35.3
年平均森林減少面積 ⁴ (千 ha/年)	-	403	403
Primary Forest ⁴ (千 ha)	0	0	0
Other naturally regenerated forest ⁴ (千 ha)	-	-	33,188
Planted Forest ⁴ (千 ha)	150	200	240
Carbon stock in living forest biomass ⁴ (百万 t)	2,505	2,262	2,019

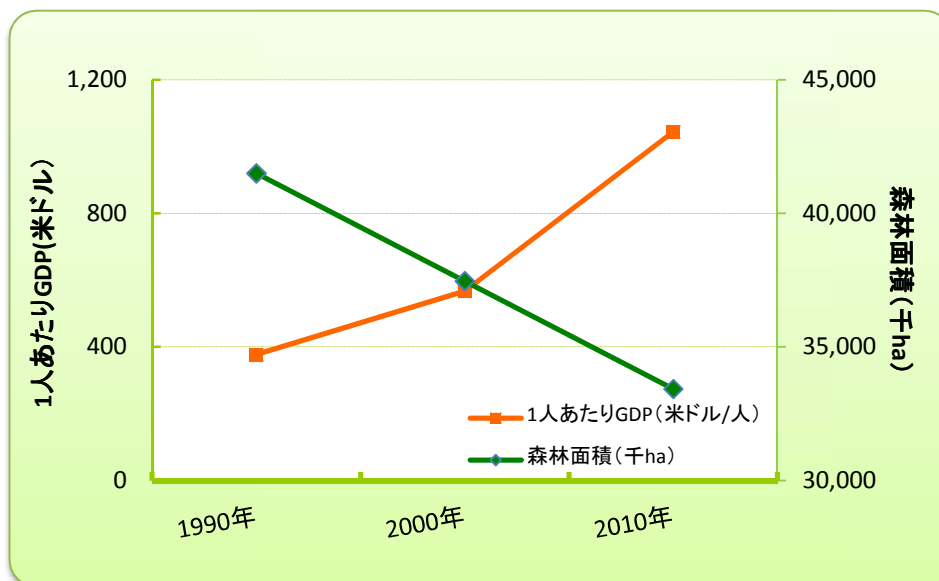
(注) 森林率は、国土面積に占める森林面積の割合を算出したものであり、本文中に示された他の文献に基づく値とは必ずしも一致しない。

¹ 出典 : United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP): 1-3.

² 出典 : FAO (2012) Socio Economic Implications.

³ 出典 : UN data

⁴ 出典 : FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. Global Tables.



【図 1-1 タンザニアの 1 人あたり GDP と森林面積(1990～2010 年)】⁴

1.2 今後の森林計画等

- ▶ タンザニア REDD プラス戦略⁵では、2012 年末を目処に実施体制の強化、能力開発、REDD プラスに関する情報共有システム、啓蒙の強化、様々な農業・生態ゾーンでの森林減少の要因に対処するためのメカニズムの強化等が実施されることを目標としており、REDD プラスに向けた準備が進められている。また、REDD プラス戦略は、既存の国家戦略（Vision 2025）、1997 年に策定した国家環境政策、1998 年に策定した参加型森林管理を促進する森林政策、そして 1995 年に策定した国土政策等とも関連、調和させるとしている。

2 REDD プラスへの取組状況

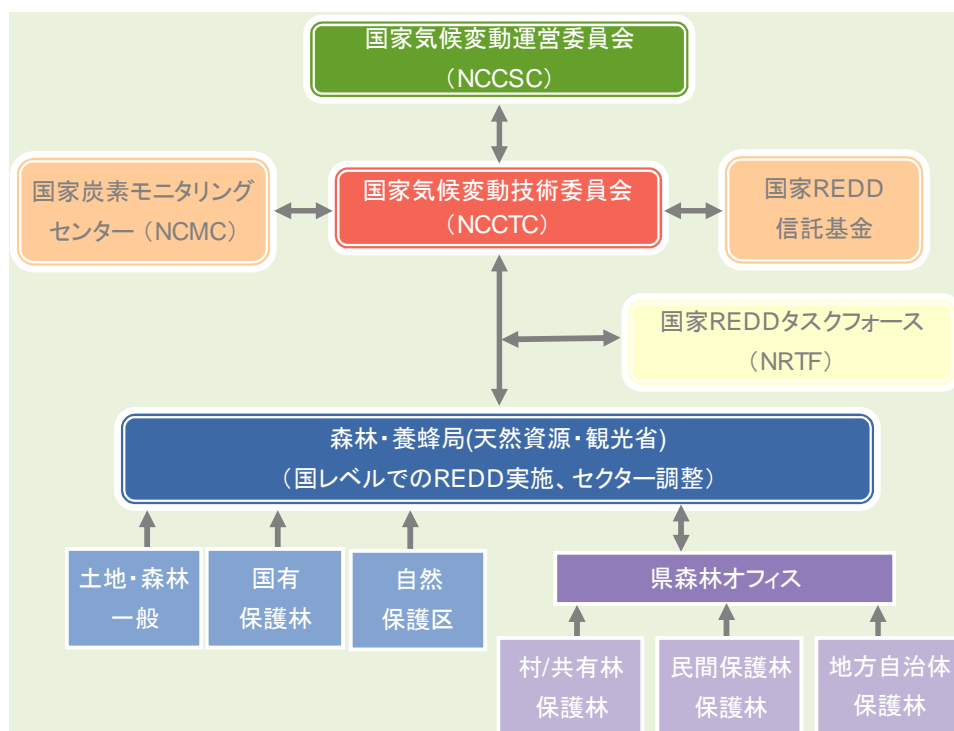
2.1 取組開始

- ▶ 2008 年、タンザニア政府とノルウェーとの気候変動・森林に関する 2 国間合意が成立。REDD プラス政策、官・民・NGO の 3 者による REDD メカニズムとパイロット事業、REDD に関する研究・訓練・教育の実施、MRV システム開発を含む、制度的な発展、REDD の資金システムの開発、成果ベースの資金配分等に焦点を当てた REDD プラスに取り組むことになった。

⁵ 出典：United Republic of Tanzania（2011）National Strategy for Reduced Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD+).

2.2 REDD プラス実施体制

➡ タンザニアにおいて、REDD プラスに関する活動の調整は、国、県、地域（村等）の3レベルにて実施されている。



(注) NCCSC : National Climate Change Steering Committee
 NCCTC : National Climate Change Technical Committee
 NCMC : National Carbon Monitoring Center
 NRTF : National REDD Task Force

【図 2-1 タンザニアにおける REDD プラス実施体制】⁶

【表 2-1 タンザニアの REDD プラス関係省庁及びその役割（案）】⁶

組織名	REDD プラス実施の際に想定される役割
国家気候変動運営委員会 (National Climate Change Steering Committee: NCCSC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ エネルギー、財務、産業、法務、国土、農牧畜開発、外務等、13 省庁の事務次官から構成される横断的な委員会 ■ REDD プラスの実施に関する全体的な助言、実施の監督を担当 ■ 国家レベルの気候変動問題全体を担当する副大統領府に対して、報告を実施
国家気候変動技術委員会 (National Climate Change Technical Committee: NCCTC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各省庁の局長から構成される委員会 ■ REDD プラス戦略の実施を含む、気候変動に関する課題実施に関する技術的な監督を担当
国家炭素モニタリングセンター (National Carbon Monitoring Center: NCMC)	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDD プラス活動の確認、報告、測定に関する技術的なサービスを提供予定 ■ センターは、今後設置予定
国家 REDD 信託基金 (National REDD Trust Fund)	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDD プラス戦略実施のため、財源をまとめ、関係機関に対して配分を実施予定 ■ 基金は、今後設置予定

⁶ 出典 : Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP) : 12.

【表 2-1 つづき】

組織名	REDD プラス実施の際に想定される役割
国家 REDD タスクフォース (National REDD Task Force: NRTF)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 政府によって任命された 8 名から構成される ■ 国内における REDD プラスに関する活動を調整し、REDD プラス準備に関する技術的、実務的な課題を監督 ■ タスクフォースは、最終的に恒久的な機関になる
森林・養蜂局(天然資源・観光省)(Forestry and Beekeeping Division)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 森林政策、調整の責任を有しており、国家 REDD 戦略策定プロセスを開始
REDD プラス技術作業部会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国家 REDD プラス戦略策定プロセスに対して、技術的インプットを提供 ■ 活動計画策定に向けたシンクタンクとしても機能
国家 REDD プラス事務局	<ul style="list-style-type: none"> ■ NRTF や REDD プラス技術作業部会の活動支援を実施 ■ 国レベルでの能力開発における支援を実施

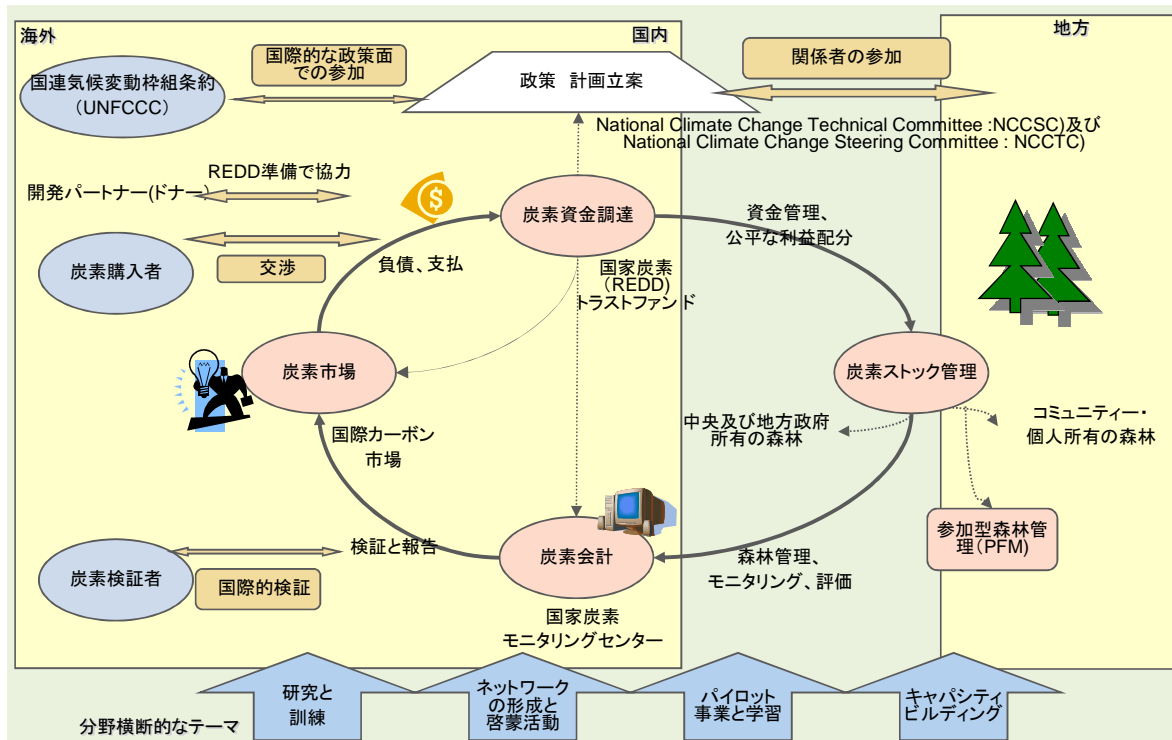
2.3 REDD プラス戦略発展プロセス

- タンザニアにおける PFM は、中央政府から地方政府への実質的な森林管理を移譲したもので、地方分権的な森林管理となっている。PFM には、コミュニティベースの森林管理、中央政府の森林局での共同森林管理 (Joint Forest Management: JFM) の 2 種類がある。タンザニアは PFM が REDD プラス実施の原動力になると期待しており、2009 年には National REDD プラスタスクフォース (TF) を設置、TF の下に 5 つのワーキンググループ (WG) を配置した。5 つの WG は、(1) MRV システム、(2) 政策、法律、ガバナンス、REDD プラスセーフガード、(3) REDD プラスの資金メカニズム、(4) エネルギードライブ、(5) 農業ドライブとなっている。
- タンザニアの REDD プラス戦略発展プロセスは以下の通りとなっている。
 - ・ 初期分析フェーズ：タンザニアにおける REDD プラスの可能性を特定する調査、REDD プラス実施能力向上、課題の選定
 - ・ 戦略的分析及びパイロットフェーズ：より深い分析とパイロットプロジェクトの実施 (例：REDD プラス見直しのための政策、法律、制度枠組み構築)
 - ・ 戦略調整フェーズ：戦略案の共有のためのワークショップ開催、コメントの交換等
- 現在は、参加型で機能的なモニタリングのための MRV システムの確立に向けた取組を開始した段階で、モニタリングシステム確立後は、国ベース、県ベース、地域ベースにおいて将来的に国家森林資源モニタリング評価プロジェクトを実施する予定である。また、9 のパイロットプロジェクトでは参照シナリオを作成している。

【表 2-2 タンザニアにおける環境社会影響活動及び予算の概況と計画】⁷

大項目	中項目	推定費用(単位:千米ドル)				
		2010	2011	2012	2013	計
Strategic Environmental and Social Assessment (SESA) の最終化、及び SESA 担当機関に対する組織への訓練・能力向上	コンサルテーションと技術協力	120	50	0	0	150
	国家環境管理委員会 (National Environmental Management Council : NEMC) と TF との調整と支援	30	30	50	30	140
	成果を共有するための国内関係者とのワークショップ	55	0	0	0	55
	国・県レベルでの訓練	80	55	40	0	175
	SESA 実行のための地方政府 (Local Government Authority : LGA) とその他組織への支援	40	35	30	0	105
計		325	170	120	30	625
資金源	政府	25	30	15	3	73
	FCPF	0	0	0	7	237
	UN-REDD プログラム(可能な場合)	100	70	45	20	235
	ノルウェー・タンザニア気候変動パートナーシップ	100	70	60	7	237

2.4 REDD プラス実施の枠組



【図 2-2 タンザニアにおける REDD 戦略的実行フレームワーク】⁸

⁷ 出典 : United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP) : 46 Table 2d.

⁸ 出典 : United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP) : 36.

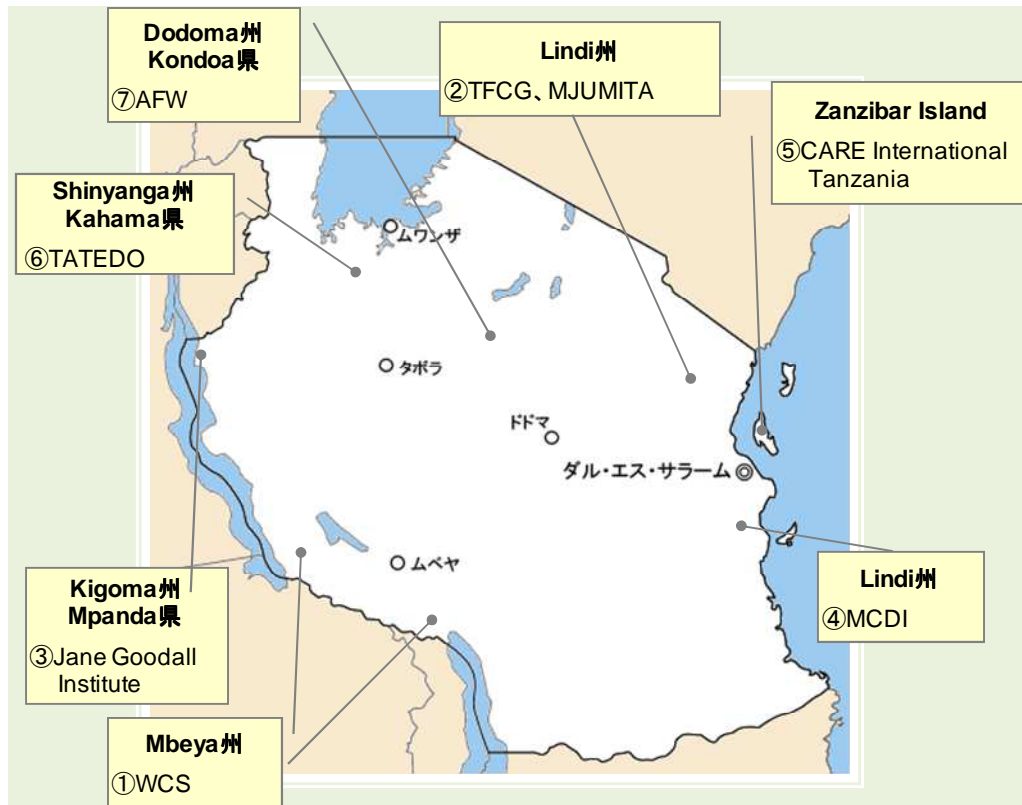
2.5 REDD プラスへの取組（年表）

【表 2-3 REDD プラスに関する主な取組】

REDD プラスに関する主だった取組	
2004 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境管理法（Environmental Management Act）策定。同法により、副大統領府の環境部が気候変動に関する全ての課題の調整役となることを規定
2008 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 4 月、ノルウェー政府と気候変動に関する課題への対応についてパートナーシップを形成するための同意書に署名 ■ タンザニア政府が REDD 準備段階を開始
2009 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 月、国家 REDD タスクフォース(NRTF) 設置 ■ 2 月、世界銀行の森林炭素パートナーシップ基金(Forest Carbon Partnership Facility: FCPF)に、改訂版 Readiness Programme Idea Note(R-PIN)を提出 ■ 5 月、国際連合食糧農業機関(Food and Agriculture Organization: FAO)と、森林資源のモニタリング・評価を目的とした国家森林資源モニタリング及び評価(National Forest Resource Monitoring and Assessment: NAFORMA)に関する信託基金協定を締結
2010 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 10 月、FCPF に Readiness Preparation Proposal(R-PP)を提出
2011 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 11 月、REDD プラス戦略文書を発表
2012 年	<ul style="list-style-type: none"> ■ REDD プラス信託基金(National REDD+ Trust Fund)の設置予定(2012 年 12 月 31 日現在、設立は確認できていない) ■ 国家炭素モニタリングセンター(NCMC)、及び国家森林炭素信託基金(National Forest Carbon Trust Fund)の設置予定(2012 年 12 月 31 日現在、設置は確認できていない) ■ REDD プラスウェブサイトを構築 ■ 国家 REDD プラス戦略案策定、関係者からのコメント募集を実施 ■ 10 月、UNDP との連携の下、REDD プラス・キャパシティ・ニーズ評価(Capacity Needs Assessment : CNA)を、2012~2017 年の能力開発計画の一環として実施 ■ 12 月、ベースラインシナリオ及び MRV システムを確立予定(2012 年 12 月 31 日現在、それらの確立は確認できていない)

3 主だった REDD プラス関連事業の実施状況

3.1 主だった REDD プラス関連事業の実施状況



(注) 2012年12月31日現在実施中の事業を示している。

(注) 図中の番号は、表3-1と対応。

【図3-1 タンザニアにおける主だった REDD プラス関連事業の実施地域及び実施団体】

【表 3-1 タンザニアにおける主だった REDD プラス関連事業実施及び資金支援の状況】

事業/支援タイプ	主だった実施主体	実施場所	取組の概要
パイロット事業実施			
① NGOによる支援	Wildlife Conservation Society (WCS)	Mbeya 州等 (タンザニア南部)	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Southern Highlands Conservation Programme」⁹。 ■ タンザニア南部高地における REDD 活動に参加するためのキャパシティ開発を目的として、2000 年に開始。
② 二国間支援	ノルウェー政府、Tanzania Forest Conservation Group (TFCG)、The Tanzanian Community Forest Conservation Network (MJUMITA)	Lindi 州及び Dodoma 州 Mpwapwa 県、Morogoro 州 Kilosa 県	<ul style="list-style-type: none"> ■ 貧困層に裨益するコミュニティ重視の REDD のパイロットプロジェクト¹⁰。 ■ Kilosa 県等を対象とした、2009 年 9 月から 5 年間のプロジェクト。対象となる森林面積は、約 5 万 ha、プロジェクト費用は約 5.9 百万米ドル。 ■ 活動は、コミュニティへのキャパシティビルディング及びカーボン企業の設立等。
③ 二国間支援	ノルウェー政府、Jane Goodall Institute (JGI)	Kigoma 州 Mpanda 県、Kigoma 県	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2010 年、ノルウェー大使館等から 2.7 百万米ドルの資金を得て、タンザニア西部にて実施されている REDD パイロットプロジェクト¹¹。約 70 千 ha の森林が対象。 ■ 活動の一環として、コミュニティの森林のインベントリ、モニタリング、管理を支援するための研修を提供。
④ NGOによる支援	Mpingo Conservation & Development Initiative (MCDI)	Lindi 州 (タンザニア南東部)	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Mpingo Conservation & Development Initiative (MCDI)」¹²。 ■ 2010 年に開始された、参加型森林管理と統合した REDD プラスパイロットプロジェクト。
⑤ NGOによる支援	CARE International Tanzania	ザンジバル島	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Piloting REDD in Zanzibar through Community Forest Management」¹³。 ■ コミュニティ森林管理を通じたジェンダー平等の貧困削減を目的とした、2010～2013 年の 4 年間のプロジェクト。 ■ 27 千 ha の森林を対象とした REDD パイロットプロジェクトを実施。

⁹ 出典：WCS Tanzania (2012) Southern Highlands Conservation Programme.

¹⁰ 出典：Tanzania Forest Conservation Group (2012) Making REDD work for communities and forest conservation in Tanzania.

¹¹ 出典：The Jane Goodall Institute (2012) Tanzania REDD program.

¹² 出典：Forest Carbon Portal (2012) MCDI REDD Project.

¹³ 出典：Care International (2012) Hifadhi ya Mimitu ya Asili (HIMA) - Piloting REDD in Zanzibar through Community Forest Management.

【表 3-1 つづき】

	事業/支援 タイプ	主だった実施主体	実施場所	取組の概要
⑥	NGO による支援	Tanzania Traditional Energy Development and Environment Organization (TaTEDO)	Shinyanga 州 Kahama 県等 (タンザニア西部)	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Community Based REDD Mechanisms for Sustainable Forest Management in Semi-Arid Areas (Case of Ngitilis in Shinyanga Region) Pilot Project」¹⁴。 ■ コミュニティベースの REDD 実施のための制度的枠組みの形成と能力開発を目的としたプロジェクト。 ■ 2010 年から 2013 年までの 4 年間、ノルウェー外務省からの資金支援を受けて実施。
⑦	NGO による支援	African Wildlife Foundation (AWF)	Dodoma 州 Kondoa 県 KOLO Hills	<ul style="list-style-type: none"> ■ タンザニア中部 Kondoa 県の Kolo Hills の約 56 千 ha を対象とした 3 年間の REDD パイロットプロジェクト¹⁵。 ■ プロジェクトを通じて 2.6 百万 t-CO₂ 削減が期待されている。
資金・技術支援				
—	二国間支援	フィンランド政府、FAO	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「NAFORMA」¹⁶。 ■ REDD モニタリング・レポートや MRV システムの構築に必要なデータ(森林資源インベントリ)作成を目的とした「森林資源のモニタリングと評価」に関する 3 年間のプロジェクトを 2009 年 5 月に開始。 ■ 森林資源インベントリは、2012 年 6 月に完了予定(2012 年 12 月 31 日現在、森林資源インベントリの完成は確認できていない。)
—	二国間支援	ノルウェー政府	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2009 年からノルウェー政府は、REDD プラスに関する様々な支援を提供している¹⁷。 ■ 2009～2013 年は、国家 REDD プラス戦略の策定、情報共有を目的としたプロジェクトを実施。 ■ 2010～2014 年は、森林モニタリング、REDD 財政メカニズム構築支援を実施。
—	国際基金	UN-REDD	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「UN-REDD Programme – Tanzanian Quick Start Initiative」¹⁸。 ■ 2009 年 10 月から 2 年間のプロジェクト。予算は 4,280 千米ドル。 ■ REDD プラスに関するガバナンスの枠組み形成、能力強化等を目的とした取組。

¹⁴ 出典：TaTEDO (2012) Community Based REDD Mechanisms for Sustainable Forest Management in Semi-Arid Areas (Case of Ngitilis in Shinyanga Region).

¹⁵ 出典：African Wildlife Foundation (2012) Enabling Communities to Conserve Forests in the Kolo Hills of Northern Tanzania.

¹⁶ 出典：Ministry of Natural Resources and Tourism (2012) NAFORMA.

¹⁷ 出典：Government of Norway (2012) Supporting REDD to keep Tanzania green.

¹⁸ 出典：UNDP (2009) UN Collaborative Programme on Reducing Emission from Deforestation and Forest Degradation in Developing Countries National Programme Document.

【表 3-1 つづき】

	事業/支援 タイプ	主だった実施主体	実施場所	取組の概要
一	NGOに よる支援	WWF Tanzania	国ベース	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロジェクト名「Enhancing Tanzanian Capacity to Deliver Short and Long Term Data on Forest Carbon Stocks across the Country」¹⁹。 ■ 国内の森林の炭素貯蔵に関するデータ収集、管理を目的としたネットワークの形成、そのための能力強化を実施。

(注) 左列の番号は、図 3-1 と対応。

3.2 その他

- タンザニアの森林基盤データの整備及び管理に係る技術支援は、フィンランド、FAO が 2009 年から 3 年間の予定で実施している。

4 UNFCCC への関与情報

4.1 UNFCCC での取組状況

【表 4-1 UNFCCC での取組状況】²⁰

実施事項	実施状況
国連気候変動枠組条約	署名: 1992 年 6 月 12 日、批准: 1996 年 4 月 17 日
京都議定書	批准: 2002 年 8 月 26 日
DNA 担当組織	副大統領府 環境局 (Department of Environment, Vice Presidents Office)
第 1 次国別報告書	2003 年 7 月 4 日提出
第 2 次国別報告書	未提出(2012 年 12 月 31 日現在)

4.2 NAMAs における REDD プラスの位置づけ

- 森林分野の NAMAs 実施方針として、森林資源のモニタリング、評価・査定技術の開発・強化を実施し、総合的な資源管理を実行するとしている²¹。REDD プラスという言葉は用いられていない。

¹⁹ 出典: Tanzania REDD+ Initiative (2012) Locations of Pilots Projects in Tanzania.

²⁰ 出典: UNFCCC (2012) Parties & Observer States: United Republic of Tanzania.

²¹ 出典: FAO (2012) From Nationally Appropriate Mitigation Actions (NAMAs) to Low-Carbon Development in Agriculture: Annex E.

5 UNFCCC へ提出している森林情報

【表 5-1 A/R CDM のための森林定義】²²

項目	値
森林面積	最小 0.05ha
樹冠率	最低 10%
樹高	最小 2m

【表 5-2 A/R CDM の対象森林】²²

項目	A/R CDM の対象状況
ゴム林	(記載なし)
竹林	(記載なし)
オイルパーム	(記載なし)

6 その他の特徴的な地球温暖化対策

- ▶ タンザニアでの REDD プラス実施における課題として、森林評価やデータ管理に関する能力不足、地域レベルでの法執行が不十分であること、広大な森林の所有権が未確定であること、森林セクターの資金不足、県や省レベルでの人材不足等が指摘されている²³。

出典・参考資料

- African Wildlife Foundation (2012) Enabling Communities to Conserve Forests in the Kolo Hills of Northern Tanzania. AWF <http://www.awf.org/content/solution/detail/4521/>
- Care International (2012) Hifadhi ya Mimitu ya Asili (HIMA) – Piloting REDD in Zanzibar through Community Forest Management. Care International <http://www.care.org/careswork/projects/TZA070.asp>
- FAO (2010) Global Forest Resources Assessment 2010. FAO <http://countrystat.org/for/en>
- FAO (2012) From Nationally Appropriate Mitigation Actions (NAMAs) to Low-Carbon Development in Agriculture. FAO http://www.fao.org/docs/up/easypol/881/nationally_appropriate_mitigation_actions_NAMAS_103EN.pdf
- FAO (2012) Socio Economic Implications. FAO <http://www.fao.org/docrep/003/AB575E/AB575E05.htm>
- Forest Carbon Portal (2012) MCDI REDD Project. Forest Carbon Portal <http://www.forestcarbonportal.com/project/mcdi-redd-project>
- Government of Norway (2012) Supporting REDD to keep Tanzania green. Government of Norway http://www.norway.go.tz/News_and_events/News/News-from-the-Embassy/REDD_signing/
- Ministry of Natural Resources and Tourism (2012) NAFORMA. Ministry of Natural Resources and Tourism http://www.mnrt.go.tz/index.php?option=com_content&view=article&id=172%3Anaforma&catid=56%3Aprogrammes&Itemid=158&showall=1
- Otsyina R. et al. (2009) Status of REDD Readiness in Tanzania. The katoomba group <http://www.katoombagroup.org/documents/events/event18/STATUSOFREDDREADINESSINTANZANIA-KATOOMBA2.pdf>
- Tanzania Forest Conservation Group (2012) Making REDD work for communities and forest conservation in Tanzania. Tanzania Forest Conservation Group <http://www.tfcg.org/makingReddWork.html>
- Tanzania REDD+ Initiative (2012) Locations of Pilots Projects in Tanzania. Tanzania REDD+ Initiative http://www.reddtz.org/?page_id=40
- TaTEDO (2012) Community Based REDD Mechanisms for Sustainable Forest Management in Semi-Arid Areas (Case of Ngitilis in Shinyanga Region) Pilot Project. TaTEDO http://www.tatedo.org/cms/index.php?option=com_content&view=article&id=61%3Acommunity-based-redd-mechanisms-for-sustainable-forest-management-in-semi-arid-areas-case-of-ngitilis-in-shinyanga-region-pilot-project&catid=34&Itemid=65

²² 出典：UNFCCC (2012) Designated National Authorities.

²³ 出典：Otsyina R. et al. (2009) Status of REDD Readiness in Tanzania.

- The Jane Goodall Institute (2012) Tanzania REDD program. the Jane Goodall Institute <http://www.janegoodall.org/programs/tanzania-redd-program>
- UN data <http://data.un.org/Default.aspx>
- UNDP (2009) UN Collaborative Programme on Reducing Emission from Deforestation and Forest Degradation in Developing Countries National Programme Document. Tanzania REDD+ Initiative http://www.reddtz.org/index.php?option=com_docman&task=cat_view&gid=52&Itemid=99
- UNFCCC (2012) Designated National Authorities. UNFCCC <http://cdm.unfccc.int/DNA/index.html>
- UNFCCC (2012) Parties & Observer States: United Republic of Tanzania. UNFCCC <http://maindb.unfccc.int/public/country.pl?country=TZ>
- United Republic of Tanzania (2010) Tanzania Readiness Preparation Proposal (R-PP). FCPF http://www.forestcarbonpartnership.org/fcp/sites/forestcarbonpartnership.org/files/Documents/PDF/Oct2010/REVISED_FINAL_Tanzania.R-PP_main_document.V12_7.10.2010%5B1%5D.pdf
- United Republic of Tanzania (2011) National Strategy for Reduced Emissions from Deforestation and Forest Degradation (REDD+). UN-REDD http://www.unredd.net/index.php?option=com_docman&task=doc_down
- WCS Tanzania (2012) Southern Highlands Conservation Programme. WCS Tanzania <http://www.wcstanzania.org/shcp.htm>

本レポートは、2012年12月31日までに公表された情報に基づく。